

第37回横浜マリノールカップ 男子Aゾーン決勝 7月31日(日)

川上北ブルーデビルズ 55 vs 39 上菅田ミニバスケットボールクラブ

1Q

ディフェンスは(白)川上北がオールコートマンツーマン対する(青)上菅田はハーフコートマンツーマン川上北はフロントコートから積極的にボールマンにプレッシャーをかけ、ダブルチームでボールを奪いにかかる、#4、#6、#8がドリブルスチールやパスカットからノーマークのショットを決めてゆく。一方上菅田は川上北のディフェンスになかなかボールがフロントコートに進まないなかで、#7がドリブルで運びミドルショットやロールターンでかわして得点を重ねるが13対8 と川上北のリードで1Q終了。

2Q

ディフェンスは両チーム変わらず、上菅田は川上北のディフェンスに苦しむ。川上北はダブルチームのディフェンスから苦しいパスになったところを狙い澄ましてパスカット、イージーショットにつなぎ 23対9上菅田たまたまタイムアウト。ボール運びに苦しむ上菅田しかし何とか#5がドリブルで運びきってペイントでのジャンプショットを決めるが川上北の#5が要所でミドルを続けて決めるなどで27対15 と川上北のリードが広がって2Q終了。

3Q

ディフェンスは両チームとも変わらず、上菅田は#7と#5がそろったこのクォータ、ボールを2人でしっかりはこび攻め始める。#5ドリブルからそのままゴール、ファールをもらいフリースローも決めて3点 29対20と追い上げる。その後も#6のジャンプショットや#5のドライブインからストップジャンプショットなどで得点を重ねる。一方川上北は#5がジャンプショット、ミドルショットを決める、#10ミドルショットのリバウンドをうまく取ってゴール下を決める。このクォーターインで 39対28 と川上北のリードのまま終了。

4Q

ディフェンスは両チームともゲームを通して変わらない、ただ上菅田も川上北のダブルチームに対してメンバーが整ってきた3、4クォータではあまりミスをしなくなってきた。逆に上菅田のダブルチームに川上北のパスミスが出る場面も出てきた。オフェンスでは上菅田は#7、#5の活躍で得点する。対する川上北は#10のクローズアップショットが決まったり、#7のリバウンドショットやフリースローも2本確実に決めるなどそつなく得点。49対35で上菅田のタイムアウト残り2:03上菅田は#7のドライブ、#5のパスカットからのジャンプショットで得点し、ディフェンスではダブルチームでプレッシャーをかけるが川上北は#6のミドルや最後までよく走ってノーマークになった#10のレイアップなどの得点で 55対39 と上菅田の追い上げを振り切った。

協力/横浜市南部ミニバスケットボール連盟技術委員会

